東部地域住民自治協議会

広報
第13号

上野東部だより

2009年8月1日
発　行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ケ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX ２４－３９９９

緑のカーテン やってるよ!

ところで「緑のカーテン」ってなぁに？

ヘちまやゴーヤ、あさがおなどの
つる性の植物を窓の外に這わせた
植物のカーテンです。
夏の日差しをやわらげ、
葉の蒸散作用により
周囲の温度を下げてくれるので、
室温の上昇を抑えてくれます。
電気代も安くなるし、
CO_2の排出量も減るんです。

緑ケ丘中学校やフレンズうえのでも
ゴーヤやヘちま、あさがおカーテンやってるんだよ

へえ！
涼しいだけじゃなくて
省エネ効果も
あるんだね☆

水いっぱいやらへんだら
枯れたらかわいそうやもんなあ！
頑張って毎日水やりしような！

第2フレンズにて

わが町　車坂町

～探訪シリーズ　1～

車坂町は、市街に入る東の玄関口であり、今も常夜燈が残っていて市の中心部へ向かう街道筋となっております。芭蕉さんも、旅に出掛ける時に通ったと聞いております。

町の中程を南へ入るとすぐ左に大きな門が目に入ります。ここが東のお旅所で、毎年10月25日の上野天神祭のお渡り行列の出発点です。

境内に入ると、樹齢数百年の二本の大きな銀杏の木や杉木立があって夏でも涼しく感じられます。奥にある神殿へは10月19日～25日まで、2台の「みこし」が旅に来られる処です。

また、お祭りの当日には、街道筋に豪華絢爛な9台のだんじりが勢揃いし、お渡り出発の時刻まで休憩所となっています。

なお、50年以上続いている伝統ある車坂子ども樽みこしは、小学生男女の元気に担ぐ姿が祭りに一段と花を添え、名物の一つになっています。

お旅所の前には築約100年の集議所があり、改修しながら大切に使用しています。

一昔前までは青年団や婦人部といった組織があって活動していましたが、現在は男女合わせて10のサークルが出来（1サークル約10数名）月1回程度の会合で、世間話を通して健康で明るく住み良い町づくりを目指し和気あいあいと活動しています。

車坂町自治会長　森永　喜丈

▲東のお旅所

▲常夜燈

次回以降、シリーズで取材します。
次はどの町でしょう…

ふっくりいなかたち

地域の「中」で生きていこう!!

（ふっくりい＝デンマーク語で“居心地のいい”）

「こんにちは一!どうぞー」と明るい笑顔で出迎えてくださる「ひまわりデイセンターふっくりあ“モオンマール”」からはいつも焼きたてのいい匂いがしてきます。

その建物は、緑ケ丘東町、ちょうど上野商業高校の隣にあり21年4月に建てられた“モオンマール”という就労継続支援B型の施設です。

「住宅街の中に建てたかったんです。障害のある人たちと地域の中で働きたかったんです。」と代表の中西さんは話してくれました。

同じ敷地には、グループホーム・ケアホーム「ココウット」が併設されています。

モオンマールは、6～7名のメンバーと5人のスタッフが働いており、パンの受注生産を主としています。市役所、近隣小中学校、高等学校、JA、サンピア伊賀など様々な場所にパンを卸し、一日多い時で400個のパンを焼き上げています。

種類も食パン・黒糖パン・レーズンパン等あり、‘中種製法’というやり方で作られているそうです。そして、少し多めに焼いたパンがある時は一般の方の口に届く様入り口の黒いボードにメニューを載せ店頭販売もしています。

日によって違いはありますが、土日のお休み以外は昼から17時頃まで買うことができるそうなので、近くまで行ったら立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

なによりスタッフさんの元気とエネルギーでお腹いっぱいになるかもしれませんよ。

もともとは、予野の「社会福祉法人　維雅幸育会（いがこういくかい）」が“障害のある人々の働く場の橋渡し役と提供、地域の中で豊かに働きながら暮らし生活全体を支える”しくみの必要性に取り組み、様々な施設・事業を展開し20年。

「あんまりアップで写真とらんといて～や～」と、ケラケラ笑う障害者の方達に会って、その活動の充実さを実感しました。

●パンの受注・お問い合わせ
緑ケ丘東町980-3（中西さんまで）
☎26-7113　FAX26-7114

矢谷川は誰のもの？

矢谷川クリーンウォークに小学生6人も参加

環境保全部会が矢谷川のクリーン作戦の取り組みを始めてから5年目に入りました。橋のたもとには『ほたるの住める川』『めだかの住める川』などの小･中学生の描いた立派な看板があちこちに立っています。その数全部で17枚。すべて環境保全部会員さんの手によって立てられました。

今年度初めてのクリーンウォークは6月7日（日）7時、平井部会長の「怪我のないようくれぐれも気をつけて」の挨拶があり、その後6人の小学生はじめ、ボランティア、部会員ら25人で早速清掃作業を始めました。川の中や遊歩道のごみを拾う人、草刈機で草を刈る人ら、いつもなら40人前後の人たちが参加をしてくれているそうですが、今回は町内会主催の清掃活動と重なったため、少なめとなりました。

▲環境保全部会員さんが立てた看板

▲こんなものまで捨てられていました

それにしても、この川の管理は、堤防側は三重県、遊歩道側は伊賀市となっているそうですが、草丈が高く川原に降りられるはずの石段は探さないとわからないし、東屋や石の腰掛けは草むらの中、さらには囲いがぼろぼろ、公園とはその名が泣くのではないでしょうか。公園として作った以上、管理者側も知恵を出してほしいと思いました。

一方、今後は川沿いの自治会を形成していない住民の積極的な協力が必要であると痛切に感じました。

作業が終わってご褒美のおやつをもらった子どもたちの笑顔がさわやかでした。

▲荒れ果てた柵

参加した子どもたち▶

ほたる観賞会

6月7日（土）教育文化スポーツ部会と環境保全部会、共催の「ほたる観賞会」に参加してきました。

風がなくムシムシと暑い日に蛍はよく飛ぶそうですが、この日は風があり、寒い‥。蛍は姿を見せてくれるのか期待と不安な気持ちで、60名ほどの参加者と下友田公民館で区長さん達の「農村環境保全活動」のお話を聞き、日没を待ちました。

やっとチラチラと光はじめ、「ほらあそこも！向こうも光ったよ！」と歓声があがりました。

「飛んできたー」「捕まえたー」と子どもが持つビニール袋の中も蛍の光でいっぱいに。幻想的な蛍の舞に、寒さに震えていたことも忘れてしまいました。

最初に見つけた蛍。
もちろん帰るときは放したよ

環境保全部会とボランティアの方が作った『アクリルたわし』を頂きました。
矢谷川も『メダカが住める川』から、やがては『蛍が舞う』ようになったらいいですね。

第58回上野子ども卓球大会

笑顔と歓声!!

応援合戦でも盛り上がる

6月13日（土）上野西小学校体育館で、児童福祉会主催の第58回上野子ども卓球大会が行われました。

今回は、緑ケ丘本町福祉会の6人のメンバーに同行させてもらいました。

昨年は残念ながら、初戦敗退という結果に終わった本町チームでしたが、今年は1回戦勝者続出。中でも、4年生の下浦さんが、なんと3回戦突破!! 本人も「勝ってうれしい!! 緊張した! 下回転サーブしてくるし、負けると思ったわぁ!」と大興奮。

その後、惜しくも負けたものの、勝敗に関係なく全員が全力で取り組み、仲間を一生懸命応援する姿に感激の一日でした。

みんなで団結して応援した。
楽しかったあ！
応援しすぎてのどが
痛くなったわぁ～

エコポイント

編集後記

『もっとみんなに楽しんでもらえるような広報を』などと大口をたたいて取り組んだものの、それがいかに難しいのかを痛感しています。

結局一人では何もできない。メンバーみんなの協力でなんとか今回も出すことができました。

今度は読み手の意見も聞いてみたい。東部公民館に広報用の意見箱を作ろうかとも考えています。

『もっとみんなに愛される広報』を目指して頑張ります。

（藪中　満）

東部地域住民自治協議会
安全・安心の街づくり